

## 教えて！第4次浜松市教育総合計画

本資料は、教育総合計画の意味や役割、目指す子どもや教職員の姿、第4次浜松市教育総合計画の政策や施策等を分かりやすく説明します。



### Q 『第4次浜松市教育総合計画』ってなあに？

- ・教育基本法第17条2項に基づき、**本市が定める教育に関する計画**です。
- ・**今後10年間**の本市の教育政策の方向性や目標、施策などを定めています。

本計画は、予測困難な時代において、子どもや子どもの成長を支えるすべての人たちが、将来に向かって共に歩んでいくための**道しるべとしての役割**を果たすものです。

### Q 計画の基本理念とねらいは？

#### 基本理念 描く夢や未来の実現

##### 主 体性

物事を自分事としてとらえ、目前の課題の解決や、描く未来の実現に向けて粘り強く取り組む

##### 多 様性・包摂性

一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重しあいながら、誰もが活躍できる環境を実現していく

##### 信 頼・協働

それぞれの立場の人が、人や組織に信頼を置き、協働したり、相互に作用したりして、より良い関係性を構築していく

子どもや子どもの成長を支えるすべての人々のウェルビーイングの向上

子どもや子どもの成長を支えるすべての人たちが、幸せや生きがいを感じつつ（「ウェルビーイング」とも言います）、それぞれの「夢や未来」を描き、その実現に向けて自ら行動していく存在になってほしいと願い、基本理念を「描く夢や未来の実現」と定め、国の方向性、前計画の成果や課題、本市の現状を踏まえ、上記の「3つのコンセプト」を設定しました。

## Q 浜松市の目指すこどもの姿、教職員の姿とは？

### 【目指すこどもの姿】

自分らしさを大切にする  
こども

他者と協働し、主体的に  
行動できるこども

自己調整しながら粘り強く  
取り組むこども

※自己調整とはこども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定していく様子を表します。

前ページの3つのコンセプトを踏まえ、本市の目指すこどもの姿を上記のように設定しました。

本市では全計画に引き続き、本計画においても「自分らしさ」を重視しています。こどもが自他の「自分らしさ」を大切にしていくことは、他者を認め、協働しながら高め合い、補い合うことにつながっていくと考えます。また、「自分らしさ」を大切にして、こども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定する過程を通して自己実現を果たしていくことは、自らが関わる社会に変化をもたらします。その様は、持続可能な社会を創り出す姿そのものであると考えます。

### 【目指す教職員の姿】

こどもの自分らしさを受け  
止める教職員

愛情と情熱、規範意識を  
持ち続ける教職員

専門性と指導力を磨き続け  
る教職員

自己調整しながら主体的に学び続けることは、こどもにも教職員にも求められる学びの姿です。教職員が自らの専門性と指導力を磨き続けると同時にこどもの自分らしさを受容し、こどもの成長を支援する伴走者としての役割を果たしていくことも必要となります。こうした考え方のもと、本市の目指す教職員の姿を上記のように設定しました。

## Q計画ではどのようなことをするの？

本計画では、**3つの方針**を定め、それに基づいた**5つの政策**達成に向けて、**25の施策**を行います。どの施策についても様々なデータやデジタル技術の活用（教育DX）を意識して取組を進めます。また、各施策について、毎年、データ等に基づいて振り返り、見直しを行ったうえで具体的な取組を改善していきます。

教育DXとは、学校がデジタル技術を活用して、今までできなかった学習や業務を実現し、時代に対応した教育を進めていくことをいいます。

## Q計画の3つの方針と5つの政策とは？

本計画の基本理念「描く夢や未来の実現」や目指すこども、教職員の姿を実現していくために、次の3つの方針を定めました。それぞれの方針の下には、各方針を実現するための政策が位置付けられています。

### 方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

👉 方針Ⅰは、こどもに関する政策をまとめています。

政策1 未来の創り手に求められる力の育成

政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

### 方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

👉 方針Ⅱは、学校の教職員や学校の整備に関する政策をまとめています。

政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

### 方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働

👉 方針Ⅲは、保護者や地域、NPO等様々な人や機関との連携に関する政策をまとめています。

政策5 多様な人材・主体との連携・協働

## Q計画の25の施策とは？

本ページに本計画の5つの政策達成に向けて位置付けられた25の施策を一覧で示します。

### 政策1 未来の創り手に求められる力の育成

- 施策1 確かな学力の育成
- 施策2 豊かな心の育成
- 施策3 健やかな心身の育成
- 施策4 グローカル人材の育成
- 施策5 情報活用能力の育成
- 施策6 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成
- 施策7 育ちや学びをつなぐ教育の推進

### 政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

- 施策1 志ある優れた教職員の確保
- 施策2 専門性を有する質の高い教職員の育成
- 施策3 多様な専門スタッフの配置
- 施策4 教職員がいきいきと働ける環境の整備

### 政策5 多様な人材・主体との連携・協働

- 施策1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 施策2 魅力ある地域人材や団体等との連携
- 施策3 家庭教育支援の推進
- 施策4 放課後の居場所づくり

### 政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

- 施策1 多様なニーズに対応したこども・保護者への支援
- 施策2 特別な支援を必要とするこどもの学びや支援の充実
- 施策3 不登校児童生徒の学びや支援の充実
- 施策4 外国へつながるこどもの学びや支援の充実
- 施策5 多様な才能・個性を伸ばす機会の提供

### 政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

- 施策1 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
- 施策2 学校安全の推進
- 施策3 中山間地域等における教育環境の向上
- 施策4 学びの機会確保に向けた支援
- 施策5 いじめの問題への対応

※それぞれの施策の下に、具体的な取組を位置付けています。取組については、第4次浜松市教育総合計画本編を御覧ください。

## Q施策の成果はどうやってはかるの？

本計画は、計画（Plan）、実行（Do）、測定・評価（Check）、修正・改善（Action）のサイクルに基づいて、マネジメントを行います。

計画の評価は、施策ごとに指標（目標を達成できたかどうかを判断する基準）を設定し、その状況を分析します。その結果を活かして、具体的な取組を重点化、完了、修正・改善へと反映させていきます。

## Qなぜ様々な調査を行うの？

全国学力・学習状況調査や市実態把握調査等、国や市はこども、教職員、学校、保護者の皆様に向けて様々な調査を実施しています。これらの調査結果は、施策や取組を評価し、改善していくための重要なデータとして活用します。

また、今後は教育DXの進展により、教育活動を通じて得られたデータの活用（教育データの利活用）も進めていきます。



## Q教育DXや教育データの利活用を進めると何がいの？

教育DXを進めることで、今までできなかった学習や業務を行うことができます。また、一人一台端末を活用することで、様々な教育活動を通じてデータを取得することもできます。取得した教育データを分析し、学校や市の計画に位置付けられた取組を見直すことで、より効果的な学習方法や教育活動を探ることもできます。

- 【例】・学習履歴を分析し、「どのような知識を」「どこまで」理解・習得したかについて把握するというように、今まで見えていた状況をよりよく見えるようにしていくことができる。
- ・様々な調査を掛け合わせて分析することで、今まで見えていなかった新たな事実を発見し、教育活動に活かすことができる。
- ・客観的な根拠をもとに施策や取組について見直すことができる。

## パブリック・コメントでご意見募集中！

第4次浜松市教育総合計画の素案について、市民の皆様からのご意見を募集しています。はままつの多くの方が協働して「描く夢や未来の実現」に向けて実践していくことができるよう、より良い計画の策定に向けてご協力をお願いいたします。